

公表事業所における自己評価結果

事業所名		公表日2025年 3月 1日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	有効活用を心掛けています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	配置人数を適正に調整している
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく快適化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に直し、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	もっとわかりやすくしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日清掃を丁寧に行っている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	プログラムごとに分けている
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	7	0	ケース会議や職員間で情報共有をしている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	アンケートを取っている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	職員間で情報共有をしている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	第三者評価はできていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	社内で研修は定期的に行っています
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	HPで公表している
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	課題を分析し作成しています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	職員間で情報共有をしている
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを活用する等により確認しているか。	7	0	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のわらび支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	ガイドラインに沿って対応しています
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	複数のスタッフで立案しています
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	支援を振り返り、スタッフの間でも共有している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	ニーズに沿って分けています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	職員間で情報共有をしている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い気づいた点等を共有しているか。	7	0	職員間で情報共有をしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の様態・改善につなげているか。	7	0	丁寧に記録をしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	適宜モニタリングを実施しています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	7	0	児童発達支援管理者と担当者が主に参加しています
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	いつでも行える体制を整えています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	
	28	(28～30は、センターのみ回答)			
	29	地域の他の児童発達支援センターや障害児発達所支援事業所等と連携を回り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	30	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答)			
	32	地域の児童発達支援センターとの連携を回り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。	7	0	積極的に連携を行っています。
	33	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	ニーズがあれば面談を行っています
	35	家庭の対応力の向上を図る観点から、事後に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	
	36	質を高めたいります。			
保護者への説明等	37	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明を行っているか。	7	0	
	38	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1	6	
	39	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	ニーズがあれば面談を行っています
	40	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	よりよい支援ができるよう努力していきます
	41	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7	積極的に行います。
	42	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	
	43	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	6	積極的に発信をしています。
	44	SNS等を活用していきます。			
	45	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	よりよい支援ができるよう努力していきます
	46	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	よりよい支援ができるよう努力していきます
	47	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を行っているか。	0	7	
	48	積極的に行います。			
	49	事前に、服装や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	7	0	契約時に聞き取りをしています。
非常時等の対応	50	食料アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	契約時に聞き取りをしています。
	51	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	社内で研修を行っています。
	52	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	すぐに連絡できる体制を整えています
	53	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	日々起こったことを記録しております。
	54	安全に注意しています。			
	55	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期的に研修を行っています。
	56	積極的に行います。			
	57	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	記載しています。
	58	組織全体でマニュアルを徹底します			